

日蓮大聖人の言葉から学ぶ：一日も生きておわせば
功德つもるべし

心を結ぶ本泉寺通信

Musubi

Vol.07
2024
春彼岸号

春の彼岸にはぼた餅を

令和6年度春季彼岸会

本泉寺開山四百年

慶讃浄財奉納者芳名

星の神様 妙見くんに聞いた

干支九星吉凶予報

好評連載中

本泉寺見仏記

本泉寺のホットな情報をお届け

お寺の掲示板

【特集】

十
二
支
の
秘
密

令和六年度

春季彼岸会

法要日 令和六年三月二十日（水）

時間 彼岸会法要 正午より

ペット供養 午後二時より

場所 本泉寺本堂

卒塔婆 一体 四千円

献灯 一灯 二千円

◇先祖各位や水子、ペットの供養などに

彼岸会法要終了後、無縁塔と水子観音堂にて
墓前供養を行います。併せてご参列ください。

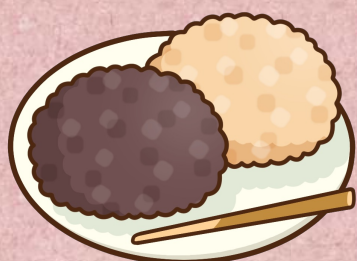
●春の彼岸にはぼた餅を

春のお彼岸には欠かせないお供物として「ぼた餅」があります。よく「ぼた餅とおはぎ」の違いを聞かれる事がありますが、原材料や作り方は全く同じで、食べる時期と使用する「あんこ」が違うだけです。

とはいえ、あんこの原料である小豆の朱色は「魔除け」を表し、使用する米は五穀豊穡の願いが込められているとのこと。また、あんこと米を合わせる事から、ご先祖と自分達の心を「合わせる」との意味もあるとか。

お彼岸は、仏様の世界と私達の世界が最も近くなる日とされています。

この特別な期間に感謝の気持ちとして、ぼた餅を仏壇にお供えしましょう。



本泉寺開山四百年慶讃浄財奉納者芳名

令和6年1月

奉納者芳名

十口	八潮市	恩田勝廣	様	二回目	計十三口
二口	三郷市	恩田孝一	様	二回目	計四口
八口	新宿区	平野猛史	様	一回目	計八口
三口	越谷市	石川智淳	様	一回目	計三口
一口	富士見市	杉山 淳	様	一回目	計一口
一口	三郷市	藤原 守	様	一回目	計一口

株式会社サンライズ

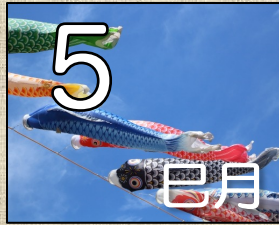
引き続き皆様のご協力をお願い致します。

三口	八潮市	恩田勝廣	様	一回目	計三口
三口	八潮市	恩田一夫	様	一回目	計三口
三口	八潮市	滝口勝四郎	様	一回目	計三口
二口	足立区	恩田明広	様	一回目	計二口
二口	三郷市	恩田孝一	様	一回目	計二口
一口	朝霞市	川端 登	様	一回目	計一口
一口	葛飾区	恩田富美枝	様	一回目	計一口
一口	三郷市	山後和義	様	一回目	計一口
一口	八潮市	滝口義則	様	一回目	計一口
一口	八潮市	恩田 操	様	一回目	計一口
一口	八潮市	緒方智恵子	様	一回目	計一口
一口	八潮市	津谷二安	様	一回目	計一口



6

午月



5

巳月



4

辰月



3

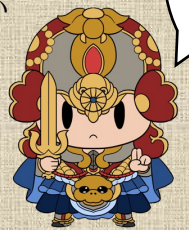
卯月

星の神様妙見くんに聞いた

干支九星吉凶予報

☆十二支は生まれ年の支で見てください

6月までの予報です



妙見くん©

大吉・未
小吉・戌、酉
小凶・辰、巳、午、亥

五黄殺・北西
暗剣殺・東南
月破・西

亥は三合の関係で吉なんだけど、3月は暗剣殺の作用があるから注意してね。南西に回る酉は天道という吉の神様が助けてになって卯の沖の作用を中和するから安心してね。

大吉・子、申
中吉・酉
凶・丑、卯、戌

五黄殺・西
暗剣殺・東
月破・北西

子と申は絶好調の4月になるよ。でも有頂天になると思われ所から隠し事が露見するかも。特に申は要注意。丑は空亡と言って力が出ない状態。無理は禁物だね。

大吉・丑、酉
末吉・申
凶・寅、午、申、亥

五黄殺・北東
暗剣殺・南西
月破・北西

酉は南に回って天合の作用を受けるから酉生まれの学生の人は勉強に励むといつも以上に成果が出るよ。午は月破の作用で思うようにいかない事があるかも。(申は吉凶両面あり)

大吉・寅、未
小吉・戌
凶・子、丑、卯、亥

五黄殺・南
暗剣殺・北
月破・北

未は午と天道という吉の神様の助けがあるから、運氣上昇のチャンスだね。戌は五黄殺の作用を受けるから、何事も周囲の意見に耳を傾けるように心がけよう。

十二支ってなに？

十二支とは子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥の総称です。

古代中国で生み出された暦法の用語で、惑星のうちで、最も尊い星とされた「木星」が、約十二年で天球を一周する事から、その位置を示すために天球を十二の区画に分けてそれぞれに名前を付けたものが十二支の名の由来といわれています。

ただし、木星は月や太陽と逆方向に天球を巡るため実際には、木星と逆回りに回る「太歳」と言う星を考えて、その星の巡る順で呼んでいます。

古代中国の殷の国では十干と組み合わせる日付を記録するのに使用されたり、春秋戦国時代以降になると日だけでなく、年・月・時・方位の記述

などにも利用されるようになりました。

さらに時代が進むと十二支は一年十二ヶ月の季節と、その変化によって生じる現象のことを指すようになり、ついには月を数える為に使われるようになっていきました。

十二の動物

元々十二支は順序を表す記号であって、それぞれの動物とは本来は関係がありません。

これは後から割り振られたものですが日本では

十二支という言葉が十二の動物を指すことが当たり前となっています。

なぜ動物と組み合わせたかについては、庶民が暦を覚えやすくなるように身近な動物を割り当てたという説や、古代バビロニア天文学の十二宮が後から伝播してきて十二支と結びついたという説などがあります。

とはいえ、陰陽五行説や十干など、多くの暦法の影が薄れゆく中であって、動物のイメージを付与されたことにより、具体的に身近な印象を獲得した十二支だけが年賀状の図案として多用されたり、自らの生まれ年を十二支の動物によって表現するなど、日本人の習慣として現代の文化の中にかろうじて生き残ったことは現代にマッチした証と言えるでしょう。



十二支に見る吉凶

前述してきた十二支には、複雑な相互関係が存在し、それぞれが吉凶を表しています。

吉の関係性で見る事ができる十二支の組み合わせは全3種類あり、

『三合会局』

『支合』

『方合』

とされています。

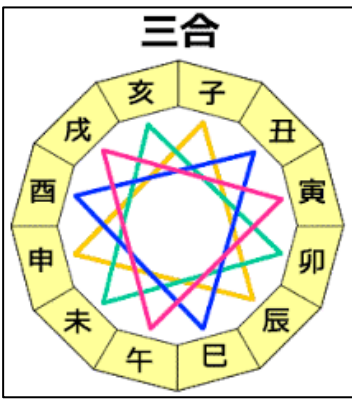
また、凶とされる関係性は全4種類とされ、

『冲』 『刑』

『破』 『害』

となっています。

この関係性は年月日や方位の間に生ずる十二支



の関係性を表したもので十二支同士の相性判断と見れば良いでしょう。

☆三合会局

三合とは十二支を円形に配置したとき、正三角形を構成する三支が全て揃った状態を言います。

その組み合わせは

『申・子・辰』

『亥・卯・未』

『寅・午・戌』

『巳・酉・丑』

となり、自分の干支から数えて5つ目と9つ目の干支との結びつきを表し強い力を発する関係となります。

自らの生年月日にこの三合会局を持っている人は、たとえどんな苦境に陥っても、持ち前の強運で成功に導く強い力を発揮する事が出来る人と言えるでしょう。



また、三支が揃わなくても、各季節の中心の十二支（子卯午酉）を含む二支状態を『三合半会』中心の十二支を含まない二支状態を『三合崩れ』と呼び、いずれも安定した吉の相互関係とされています。

☆支合

次に支合ですが、こちらは十二支のうち二つの干支が互いに対立しながらも手を繋ぎ合う関係と言えます。三合や支並より力は幾分弱いのですが吉の関係と見れます。

『子・丑』 『寅・亥』

『卯・戌』 『辰・酉』

『巳・申』 『午・未』

の6種類となります。

支合は字の如く支え合う関係ですから、相性は良いと言えるでしょう。

☆方合

方合とは別名「支並」と言い、十二支のうち隣あう三つの干支が手を繋ぎ合う状態を表し、三合同じように強い力を発揮する関係となります。

これも三合同じように季節の中心となる干支（子卯午酉）を含むか含まないかで大きな差はありませんが、生年月日であれば、強運の生まれとなりますし、お店の開店日などの吉日として用いる事で開運ともなる素晴らしい関係なのです。

(次号に続く)



〈連載〉

本泉寺見仏記

きっしょうてん

吉祥天

第5回

美と繁栄の女神

吉祥天はヒンドゥー教の女神『ラクシュミー』が仏教に取り入れられた仏であり、別名を功德天・宝蔵天女ともいう。名前の吉祥とは繁栄と幸運を表し、幸福や美を顕す仏とされる。

日本に初めてその名を知られたのは奈良時代で『金光明最勝王経』には吉祥天の役目として信者に福を授け、経を読めば食事や着るものに困らず吉祥天像を祀れば家が栄えて金持ちになり、経を読めば五穀豊穡の叶わぬことはないと言われた。このような事から吉祥天は七福神の一神とされ

ていたが、現在では弁財天と同一視されその座を追われている。

吉祥天は中国・唐時代の貴婦人の姿で、優雅な衣装を身に纏い、宝冠を付けて左手に如意宝珠、右手は与願印を結ぶ像容が一般的とされている。

吉祥天が左手に持つ如意宝珠とは、どんな願いでも意のままに叶える法具であり、右手の与願印は『どんな願いでも聞き入れる』という意味を持つ印の一つである。

このような姿から、祈る者に福德を与える女神としての役割を窺い知る事ができる。

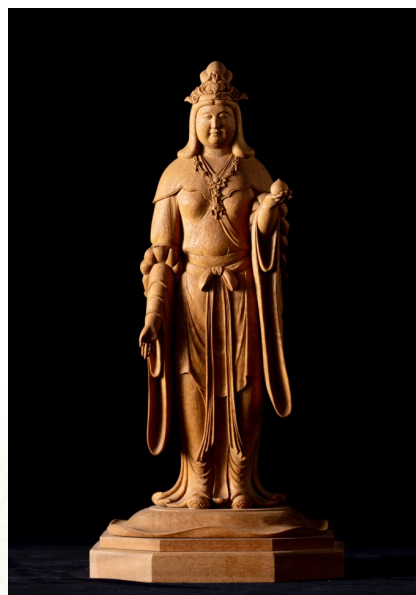
ヒンドゥー教の中ではヴィシュヌ神の后とされていた吉祥天は、仏教に

我、当に身を終ゆるまで常に此れに住して是の人を擁護し闕乏なかれしめん。希求する所に随いて、悉く皆意に称わん。亦た当に時時に貧乏を給濟すべし。

『金光明最勝王経』

においてもヴィシュヌ神が仏教に取り入れられて成立した毘沙門天を夫とし父に八大龍王の一人である徳叉迦龍王、母は鬼子母神であることなど、本宗が勧請する諸天との関わりを深く持っている事から法華経の經典に吉祥天の名を見る事はなくとも祭祀する寺院も多い。

本泉寺が奉安している吉祥天立像は鬼形鬼子母神立像（二代目作）と開運大黒天像（三代目作）を彫像した仏師・木村鶴光の初代が彫ったもので豪華な宝冠や瓔珞（ようらく・胸飾）などの細やかな彫刻だけではなく、ふくよかで優しく美しい女神たるその姿は見る者を魅了してやまない。



吉祥天立像

像高 三十八cm

奥行 二十cm

仏師 初代木村鶴光作

お寺の掲示板

新年星祭開運祈禱会 開催

本年1月7日に新年星祭開運祈禱会が開催されました。
当日は一般参加者8名を含む、総勢13名での盛大な水行に始まり、祈禱会では参加者で本堂が満杯になるほどの盛況となりました。
当日ご参加いただきました皆様には寒い中をご足労いただいた事に感謝いたしますと共に、年中安泰と無病息災を引き続きご祈念させていただきます。



寺ヨガが始まる

本年1月15日から本堂にて「寺ヨガ」が開催されております。
初心者でも参加できる内容となっておりますので、参加をご希望の方は寺務所までご連絡ください。

●毎週月曜日 午後1時開催
※見学も随時受付中です

日蓮大聖人の言葉から学ぶ

いちいち い

一日も生きておわせば

くどく
功德 つもるべし

【可延定業御書】

日蓮大聖人は全宇宙（三千大千世界）の財（たから）よりも素晴らしいものが生命であると説かれています。

私たちは大切な命をいただき、家族や友人など多くの人に支えられて、今を生きています。限りある人生の中で、一日一日を大切に過ごし、命の大切さを感じ、その命に感謝することで積まれる功德は計り知れないのです。

今日いう日を無事に過ごすことが出来た事に感謝する心を養う事こそ、日蓮大聖人の教えに合うものなのです。

三月以降の年中行事

○春季彼岸会

三月二十日（水・祝）

○願満地藏尊大祭

三月二十八日（木）

○開運大黒祭（甲子日）

三月一日（金）

四月三十日（火）

六月二十九日（土）

茶坊主の

小部屋

●一月一日に起きた地震によって能登地方の多くの寺院が被災をしたが、他人事ではない。本泉寺の本堂や客殿、無縁塔などは現在の耐震基準を満たしていない建造物である。早めの対策を講じなければならない。



第8号は令和6年夏発刊の予定です

発行



HONSENJI

日蓮宗 妙福山 本泉寺
埼玉県八潮市二丁目1472-1

TEL:048-996-9843

FAX:048-999-1884

mail:info@honsenji.jp